



令和6年度 学習成果報告書



【 学 習 成 果 報 告 書 目 次 】

- ・ 学校経営目標より……………P2～P4
- ・ 「学びづくりプロジェクト」より
各種調査……………P5～P7
- ・ 「絆づくりプロジェクト」より
沖縄県生徒質問紙より……………P8～P10

【学校経営目標より】

1 学校経営の基本コンセプト

絆（きずな）	世界（せかい）	未来（みらい）
人との「きずな」 が人間性を育む	言葉の力が 「せかい」を広げる	学ぶ力が 「みらい」を創る

2 重点的に育成する資質・能力

（１） 「未来を創造し自己実現を図る6つの資質・能力」

資質・能力 の3つの柱	学びに向かう力・人間性等 知識及び技能 思考力・判断力・表現力等		
本校3つの基本 コンセプト	絆（きずな） 人との「きずな」が人間性を育む	世界（せかい） 言葉の力が「せかい」を広げる	未来（みらい） 学ぶ力が「みらい」を創る
未来を創造し自 己実現を図る6 つの資質・能力 ※本校で重点的 に育成する資質 ・能力	主体性① 協働性②	言語能力③ 国際性④	自己調整力⑤ キャリアプランニング能力⑥
	①自分で考え、判断し責任を持 って行動する力 ②同じ目的や課題解決のために 、仲間と協力し合って学んだり 活動する力	③文を「読んだり」「書いたり 」言葉を使って「話し合ったり する」言葉を使う力 ※特に根拠を示して説明する力 （書く力） ④他の国や地域に目を向け、多 様な価値観を理解し（差別や偏 見なく）尊重することのできる 資質	⑤「わからないこと」や「で きないこと」について、それ がわかる（できる）ようにな るための方法を考え、その方 法を実践する力 ⑥自分の未来（進路）を創造 し、今やるべきことの目標・ 計画を立てて学び活動する力

（２） 6つの資質・能力と教育活動との関わり

6つの資質・能力	6つの資質・能力の育成を図る主な教育活動
主体性①	主に特別活動（学級活動・生徒会活動・学校行事）において育成を図る
協働性②	主に特別活動（学級活動・生徒会活動・学校行事）において育成を図る
言語能力③	主に各教科の授業、総合的な学習の時間において育成を図る
国際性④	主に総合的な学習の時間・道徳科・外国語教育において育成を図る
自己調整力⑤	主に各教科の授業、短学活、総合的な学習の時間において育成を図る
キャリアプランニング能力⑥	主に特別活動（学級活動）・キャリア教育・総合的な学習の時間において育成 を図る

3 2大プロジェクトの推進と班編制

○ 「学びづくり」プロジェクト（確かな学力）⇒「学びづくり班」

（1）本年度の重点目標

- ① 生徒自ら自己調整力を発揮し主体的に授業に参加し（見通し・対話・振り返り）、1日（授業・諸活動等）の学びを振り返って家庭学習等を計画・実践する力を育成する。（自己調整力・キャリアプランニング能力）「自立した学習者の育成」
- ② 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、授業における対話・論証・振り返りの場面の充実を共通の視点として、各教科における研究の充実を図る。「組織的な授業研究」

（2）本年度の学習指導の重点事項及び具体的取組

- ① 本県の学力向上の施策を踏まえた取組に関すること
 - ア 本県の学力向上推進施策関連資料「学力向上推進プラン・プロジェクトⅡ」「『問い』が生まれるサポートガイド」等の活用
 - イ 全国学調等の諸調査結果分析・計画的活用（年間サイクル PDCA×2）
- ② 学習スタンダード「下地中学校学びのスタイル」の徹底に関すること
- ③ 校内研究の計画と研究の充実に関すること（研究内容の日常的実践）
 - ア 各教科における「教科プラン」の作成と検証（授業における対話・論証・振り返りの場面の充実）
- ④ 言語能力の育成に関すること
 - ア 各教科における言語活動の充実
 - イ 「読書活動」の推進
- ⑤ 単元を見通した「指導と評価の一体化」に関すること（授業カリマネの推進）
 - ア 単元プランシートの活用（掲示コーナー設置）
 - イ 各単元（1単位時間毎）における評価規準の設定・具体的評価方法の実践
 - ウ 資質・能力を見取るテスト改善
- ⑥ 基礎的・基本的な学習内容の定着に関すること
 - ア ウムクトゥ育成週間（定期テスト対策）
 - イ 朝ドリルの計画的な実施
- ⑦ 国際理解教育・外国語教育の推進
 - ア 台湾国際交流の計画的な実施
 - イ 英検等各種検定対策の推進
- ⑧ ICTの効果的活用（個別最適な学び・協働的な学びの充実）
 - ア 授業のねらいを達成するためのICTの効果的な活用
 - イ 教職員のICTの活用に係る校内研修の実施
- ⑨ 小中連携の推進に関すること
 - ア 言語能力の系統的な育成（「言語能力」伝える力・説明する力）
 - イ 学びを支える支持的風土の醸成に向け「安心」「所属」「承認」「自立」に関連する取組の推進

○ 「絆づくり」プロジェクト（豊かな心・健やかな体）⇒「絆づくり班」

（１） 本年度の重点目標

- ① 教育活動のあらゆる場面において、企画・進行・運営等の出番（役割）を与え、主体性（リーダー性）や協働力を育成する。「なすことによって学ぶ」
- ② 思いやりの心をもって「あいさつ（たった１秒で言える言葉）」「言葉遣い」を大切にし、一人一人が「安心感」「所属感」の持てる魅力ある学校づくりを推進する。「魅力ある学校づくり」

（２） 本年度の学習指導の重点事項及び具体的取組

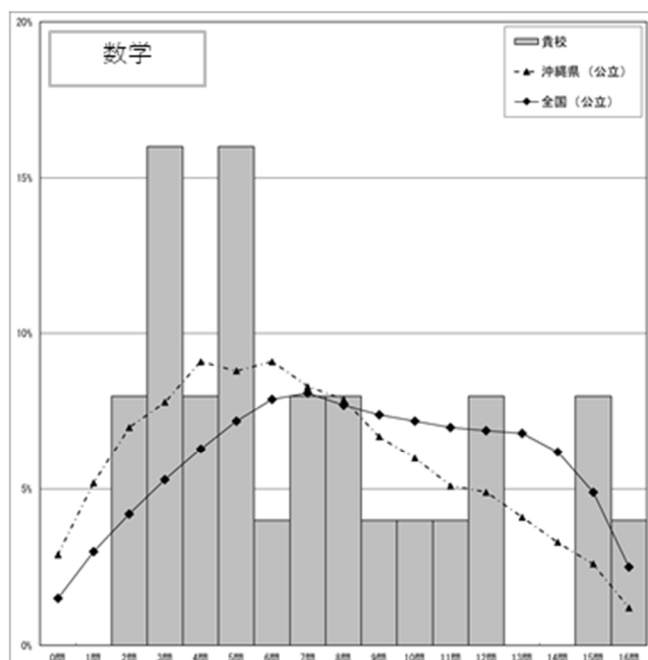
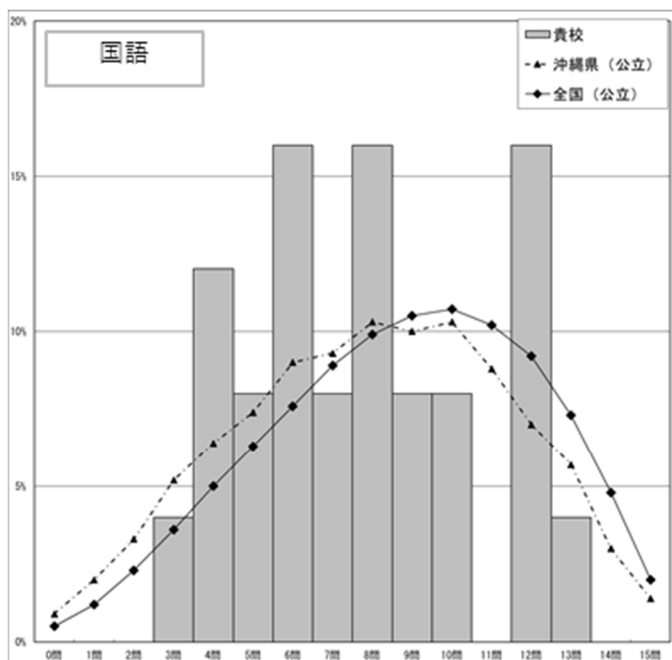
- ① 生徒理解に努め、その対応については情報連携と組織対応の徹底を図る。
 - ア 「絆づくり班会議」「運営委員会」での情報共有と対応策の検討
 - イ 気になる生徒について情報共有（不登校・問題行動・特別支援対象生徒）
 - ウ 教育相談（学期１回）計画や特別支援教育（個別の支援計画）の充実
- ② 規範意識の醸成と自己指導能力の育成
 - ア 生徒心得の遵守と学期毎の徹底事項の設定について（チャイム着席・授業時のあいさつ・身なり・聞く態度）
 - イ 学習スタンダード「下地中学校学びのスタイル」の徹底
 - ウ 集会指導（教室移動～集合整列）
- ③ 校内いじめ防止基本方針に基づく取組の推進「いじめ見逃しゼロ（積極的認知）」
 - ア 毎月のアンケートの実施（アンケート結果の共有と組織的認知）
 - イ 保護者への「いじめ早期発見チェックリスト」配布
- ④ 不登校の未然防止と早期対応
 - ア 特別活動を軸とした支持的風土づくり（安心・所属・承認・自立）
 - イ 日々の欠席者の確認・対応
- ⑤ 出番・役割を与え「なすことによって学ぶ」特別活動の充実
 - ア 生徒が自発的・自治的に企画・進行・運営する生徒会活動・学校行事
 - イ 生徒会活動と学級活動の接続（重点目標の実践・委員会活動と係活動の接続）
- ⑥ 「図南Passport（キャリア・パスポート）」の作成・活用
 - ア 教育相談（励まし・称賛）、三者面談（保護者との共有）での活用
 - イ ６つの資質・能力を踏まえた学期毎の目標設定と振り返り
- ⑧ 道徳性養う道徳教育と地域貢献の推進
 - ア 道徳科を要とした道徳教育の推進（「主として人との関わりに関すること」等重視）
 - イ 地域貢献（池原公園清掃等）や体験活動、ボランティア活動の実施
- ⑨ 心身の健康への関心と、健康な生活習慣の形成
 - ア 学校三師との連携と保健指導（健康課題、性、エイズ・薬物乱用防止）の充実
 - イ 健全な食生活の実践のため「食」に関する授業や講話の実施
- ⑩ 体力向上を目指し、体育・部活動の充実
 - ア 体力向上のため、教科体育や運動会・強歩大会等の適切な計画と実施
 - イ 強歩大会に向けた「一校一運動」（FUN RUN等）の展開
 - ウ 部活動の奨励と加入率の向上

「学びづくりプロジェクト」より 「各種調査」等の結果

全国学力学習状況調査(3年4月)、標準学力調査(1・2年4月)、県学びの確かめ(1・2年6月)結果と分析

【3年全国学力学習状況調査(4月実施)】〔目標値：全国に5P以内〕

令和6年度 全国学力学習状況調査(4月) 3年					
教科	学校平均正答率	全国平均正答率	本校ー全国	沖縄県平均正答率	本校ー県
国語	52.0%	58.1%	-6.1%	53.0%	-1.0%
数学	45.0%	52.5%	-7.5%	43.0%	2.0%



共通する課題

- 各教科における基礎的・基本的な内容の確実な定着(各教科の言語能力の育成)
- 課題に対して見通しを持って取り組んだり、試行錯誤したりすることが課題
- 思考・判断・表現において、自分の考えを条件に沿って答えることが課題
- 普段の授業において、不十分な説明であっても、できていると感じている

学力課題に対する組織的取組(学校全体で取り組むこと)

- 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着
- 記述や振り返りの場面で条件の設定
- 試行錯誤し、導き出した解を吟味する場面の設定

【1年標準学力調査(4月実施)】

令和6年度 標準学力調査(4月) 1年国語 正答率						
集団	総合	基礎	活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値	59.6%	63.5%	52.2%	61.8%	55.9%	46.0%
全国値	61.3%	64.9%	54.6%	62.2%	59.2%	46.3%
宮古島市	52.7%	57.1%	44.6%	54.4%	49.0%	31.0%
1年	51.2%	55.4%	43.3%	50.3%	50.0%	28.1%
宮古島市との差	-1.5%	-1.7%	-1.3%	-4.1%	1.0%	-2.9%

令和6年度 標準学力調査(4月) 1年数学 正答率						
集団	総合	基礎	活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値	63.1%	65.5%	53.6%	67.3%	54.1%	55.9%
全国値	64.4%	67.5%	52.1%	69.6%	52.9%	54.9%
宮古島市	54.1%	57.2%	41.5%	59.4%	42.5%	44.1%
1年	49.8%	52.7%	38.0%	53.5%	41.6%	41.2%
宮古島市との差	-4.3%	-4.5%	-3.5%	-5.9%	-0.9%	-2.9%

【○成果と●課題】

○思考・判断・表現の正答率はより、記述で答える問題では、自分の考えを教科の用語を使って説明することができている。

●全体的に目標値や全国平均正答率より低い。

●知識・技能や基礎における正答率の差が大きいことから、基礎的な内容の習得に課題が見られる。

【1年学びのたしかめ(6月実施)・到達度調査(2月実施)】

令和6年度 学びのたしかめ(6月) 1年								
教科	学校平均正答率	県平均正答率	本校一県	宮古島市平均正答率	本校一市	本校平均無解答率	県平均無解答率	宮古島市平均無解答率
国語	58.2%	65.5%	-7.3%	63.2%	-5.0%	3.4%	4.7%	5.0%
数学	45.1%	50.5%	-5.4%	47.8%	-2.7%	10.1%	8.9%	9.8%
英語								

令和6年度 到達度調査(2月) 1年(3月11日現在)								
教科	学校平均正答率	県平均正答率	本校一県	宮古島市平均正答率	本校一市	本校平均無解答率	県平均無解答率	宮古島市平均無解答率
国語								
数学	31.4%	28.2%	3.2%	32.6%	-1.2%	12.4%	12.8%	7.8%
英語	45.5%	48.2%	-2.7%	49.4%	-3.9%	4.4%	5.3%	0.9%

【○成果と●課題】

○県との到達度調査(数学)で平均正答率を上回ることができた。

○6月の調査と比べ、2月の調査では平均正答率の差が県や市と小さくなってきている。

●下位の生徒に基礎的・基本的な内容を定着させ、正答率を向上させたい。

●数学での無解答率が高い。

【2年標準学力調査(4月実施)】

令和6年度 標準学力調査(4月) 2年国語 正答率						
集団	総合	基礎	活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値	63.5%	67.9%	55.0%	70.4%	58.1%	51.0%
全国値	65.1%	70.3%	55.2%	72.2%	60.1%	47.6%
宮古島市	56.9%	63.0%	45.5%	68.1%	48.9%	33.1%
2年	46.6%	54.2%	32.3%	60.1%	37.1%	20.0%
宮古島市との差	-10.3%	-8.8%	-13.2%	-8.0%	-11.8%	-13.1%

令和6年度 標準学力調査(4月) 2年数学 正答率						
集団	総合	基礎	活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値	56.7%	60.0%	46.9%	60.4%	40.8%	47.9%
全国値	54.7%	58.2%	43.9%	58.9%	36.5%	45.7%
宮古島市	45.2%	49.4%	32.8%	49.5%	26.9%	35.7%
2年	33.5%	36.2%	25.4%	36.5%	20.7%	26.5%
宮古島市との差	-11.7%	-13.2%	-7.4%	-13.0%	-6.2%	-9.2%

令和6年度 標準学力調査(4月) 2年英語 正答率						
集団	総合	基礎	活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
目標値	51.7%	54.1%	46.8%	57.2%	45.0%	39.3%
全国値	52.7%	56.0%	45.9%	59.9%	44.0%	35.0%
宮古島市	40.8%	44.0%	34.3%	47.7%	32.4%	21.9%
2年	36.9%	40.6%	29.5%	43.6%	28.9%	16.0%
宮古島市との差	-3.9%	-3.4%	-4.8%	-4.1%	-3.5%	-5.9%

【○成果と●課題】

- 英語の平均正答率について、県平均5%以内を達成できている。
- 国語における活用や思考・判断・表現の内容の定着が弱い。
- 数学における基礎や知識・技能の内容の定着が弱い。

【2年学びのたしかめ(6月実施)・到達度調査(2月実施)】

令和6年度 学びのたしかめ(6月) 2年								
教科	学校平均正答率	県平均正答率	本校一県	宮古島市平均正答率	本校一市	本校平均無解答率	県平均無解答率	宮古島市平均無解答率
国語	45.1%	56.1%	-11.0%	55.6%	-10.5%	16.4%	7.2%	8.4%
数学	37.5%	44.9%	-7.4%	43.9%	-6.4%	13.9%	11.0%	11.2%
英語	50.6%	49.7%	0.9%	45.6%	5.0%	11.9%	11.6%	14.8%

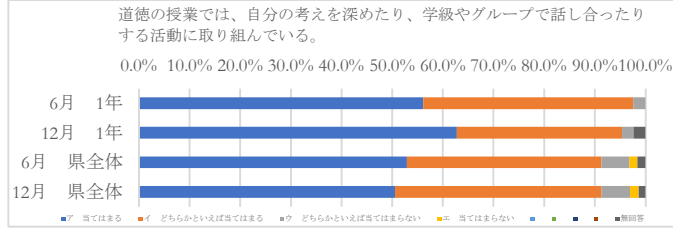
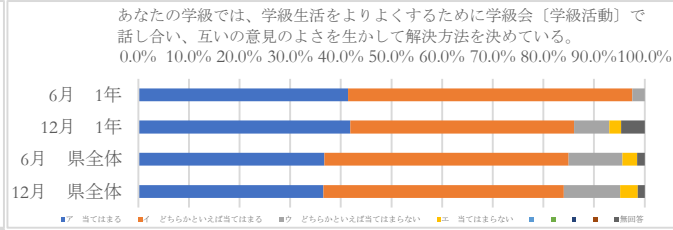
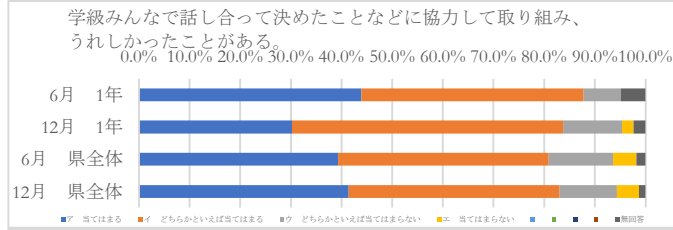
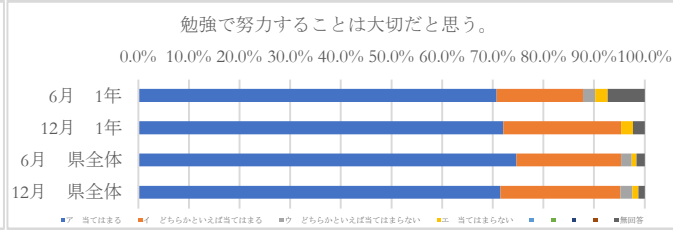
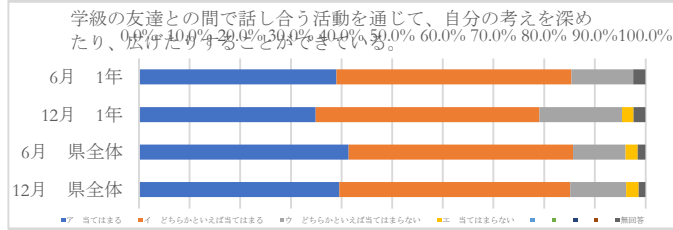
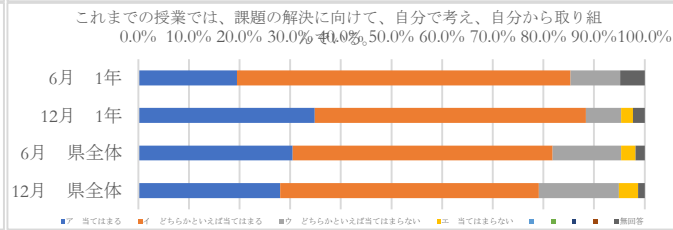
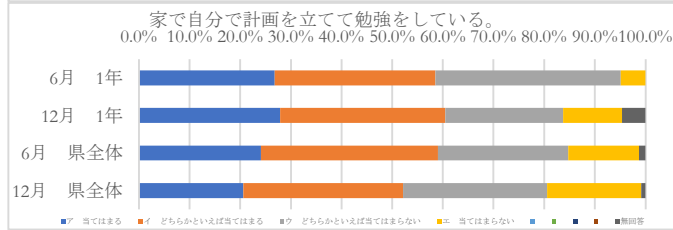
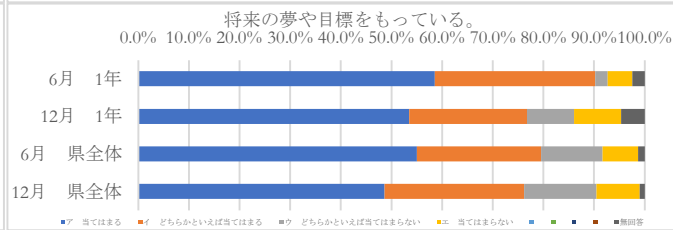
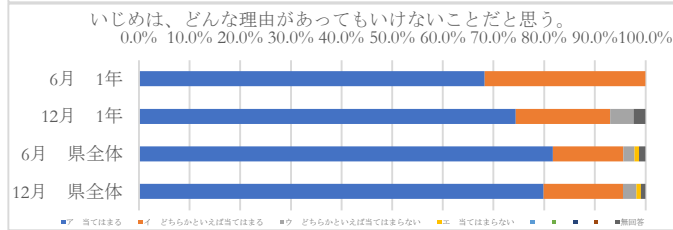
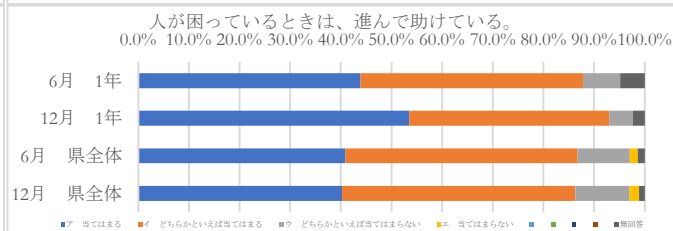
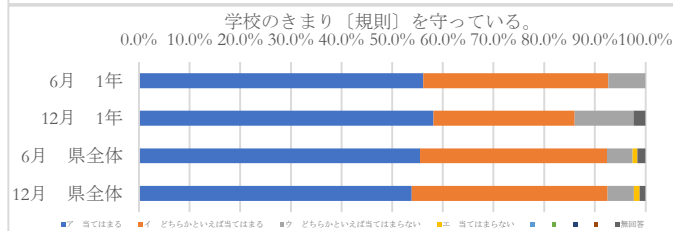
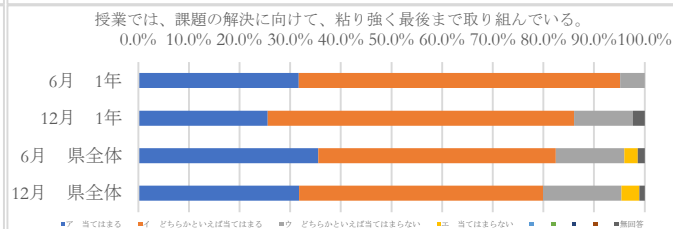
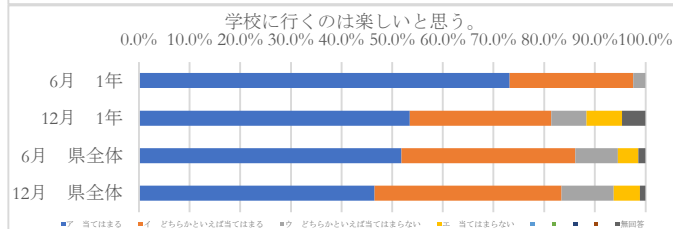
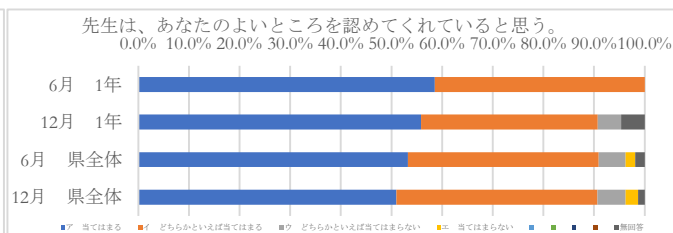
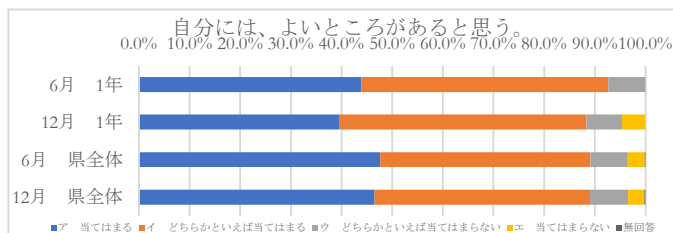
令和6年度 到達度調査(2月) 2年(2月28日現在、宮古島市他校未実施)								
教科	学校平均正答率	県平均正答率	本校一県	宮古島市平均正答率	本校一市	本校平均無解答率	県平均無解答率	宮古島市平均無解答率
国語	37.8%	45.7%	-7.9%	44.1%	-6.3%	10.5%	8.6%	7.0%
数学	20.4%	28.0%	-7.6%	29.8%	-9.4%	27.3%	17.7%	21.2%
英語	43.6%	51.2%	-7.6%	49.7%	-6.1%	6.2%	5.2%	6.5%

【○成果と●課題】

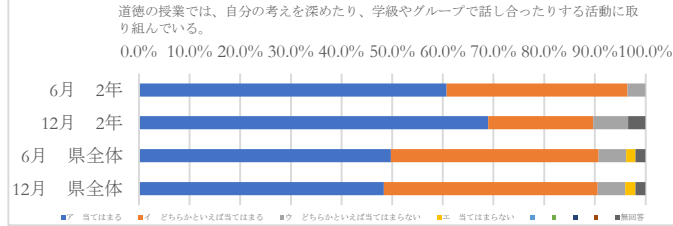
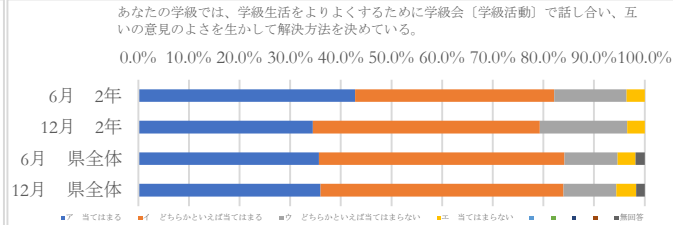
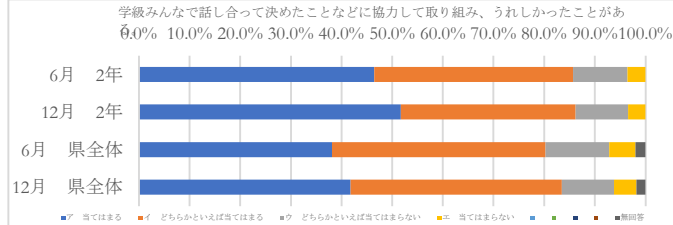
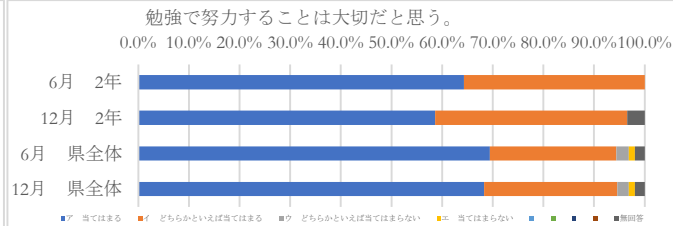
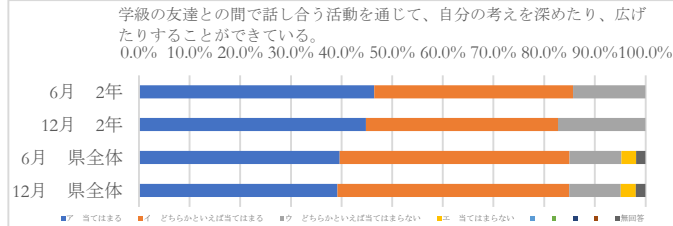
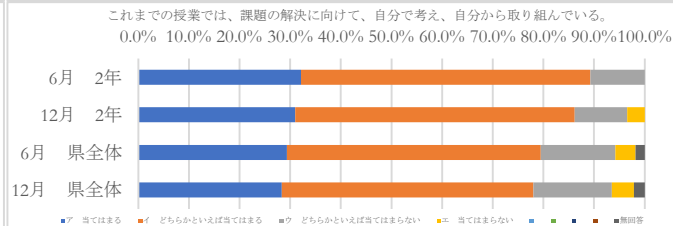
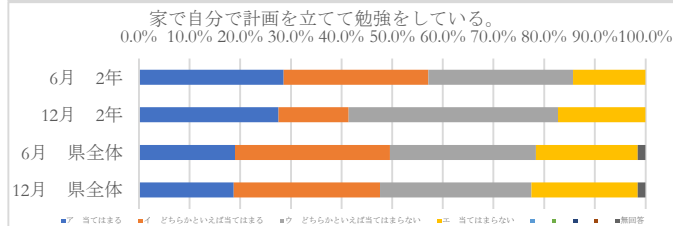
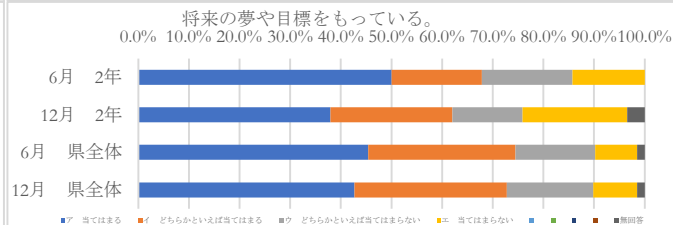
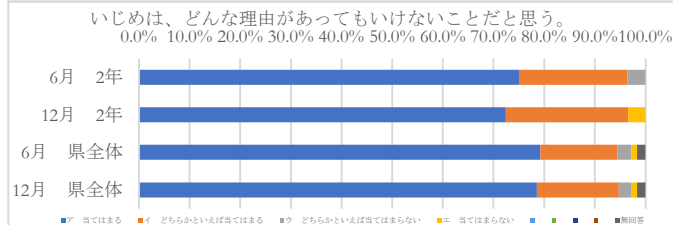
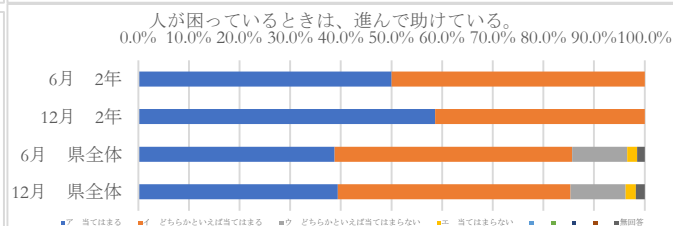
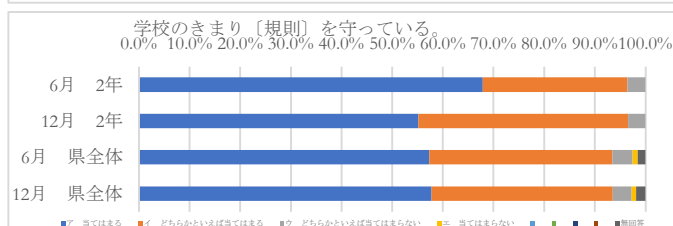
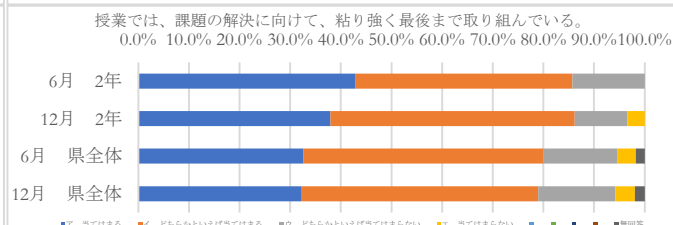
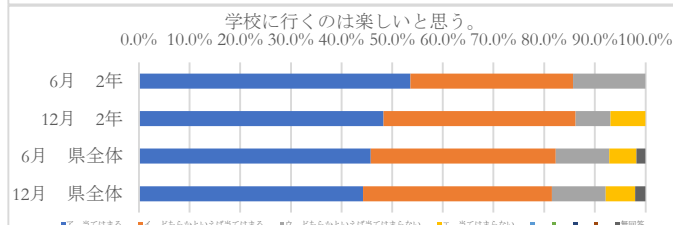
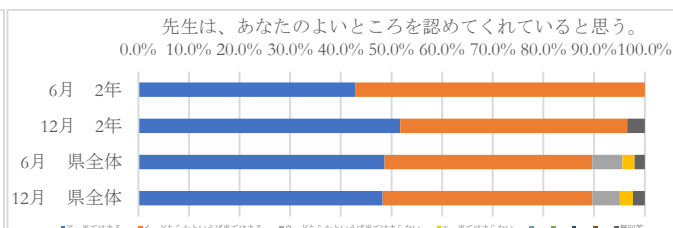
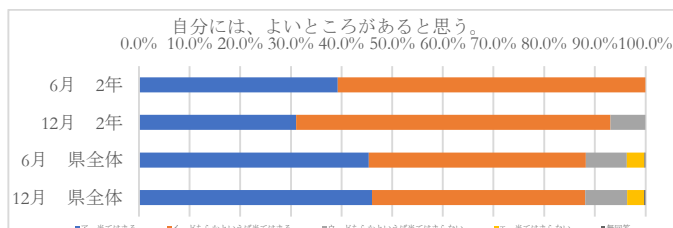
- 英語における正答率が6月では県・市ともに上回ることができた。
- 4月の標準学力と比べ、市の平均正答率に近づいてきている
- 無解答率が高く、諦める生徒が多い。
- 基礎的・基本的な内容習得に課題のある生徒が多い。

「絆づくりプロジェクト」より 「各種アンケート調査」等の結果

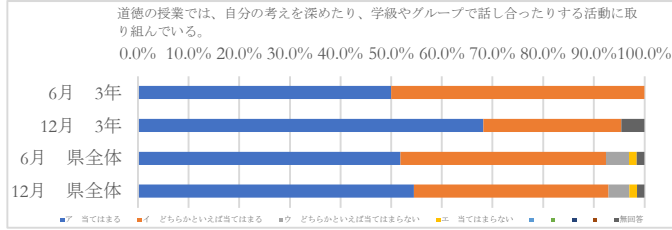
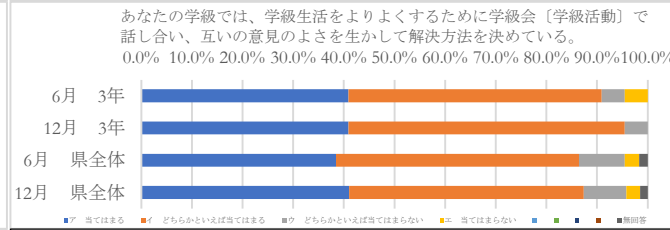
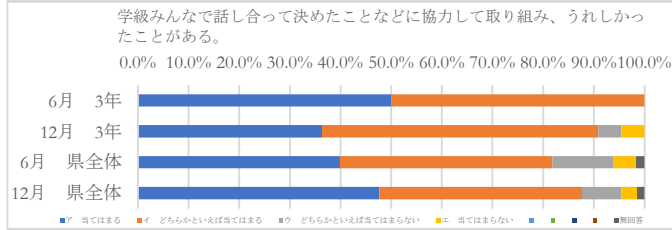
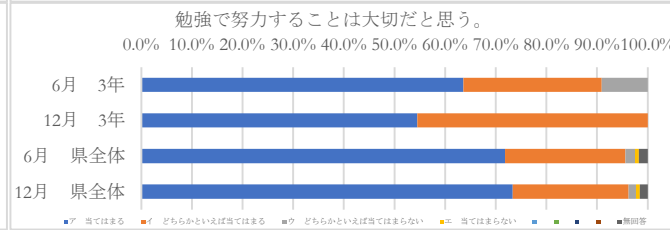
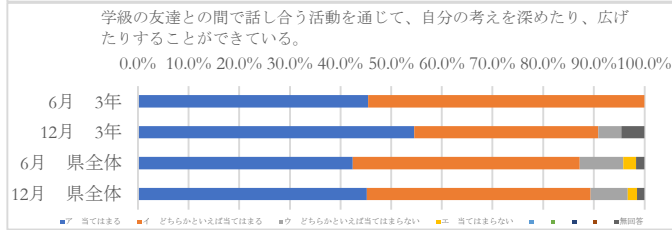
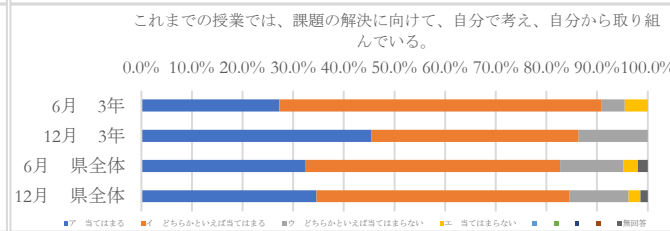
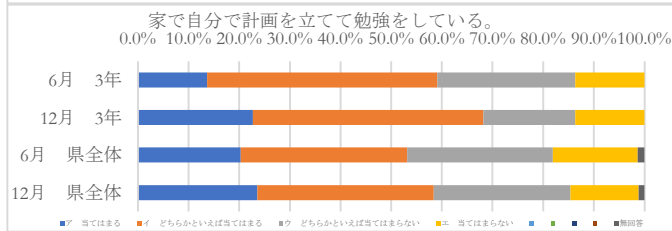
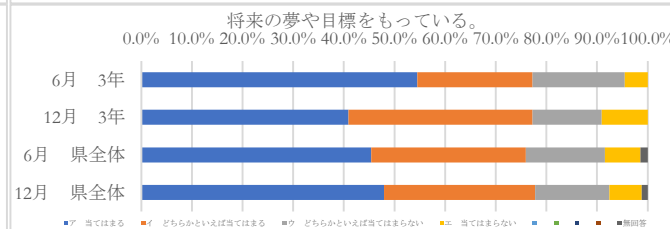
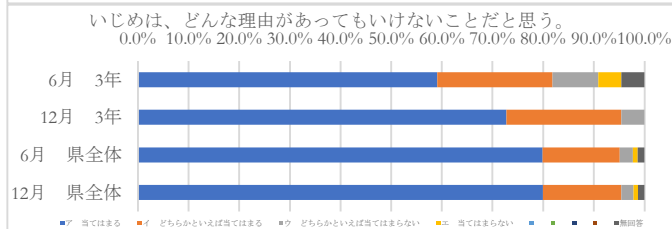
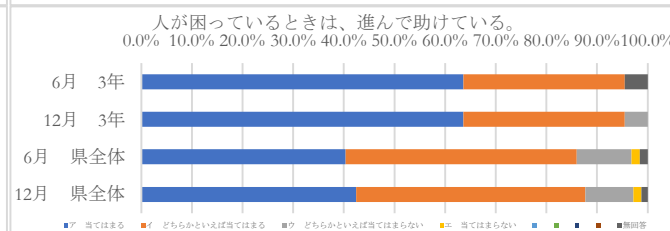
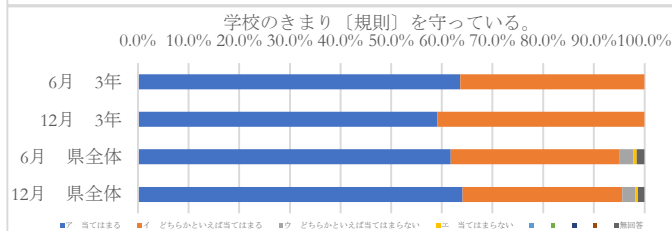
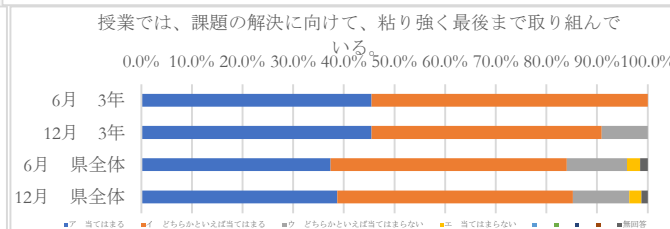
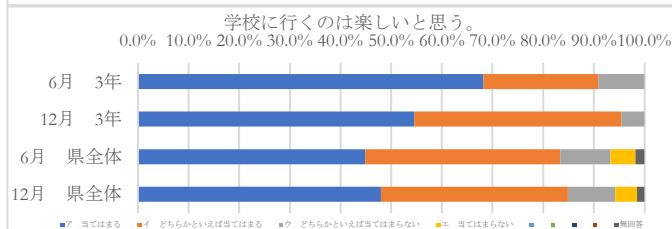
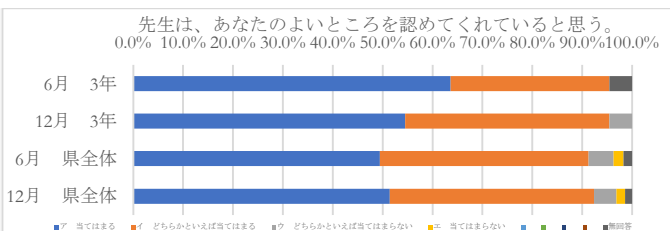
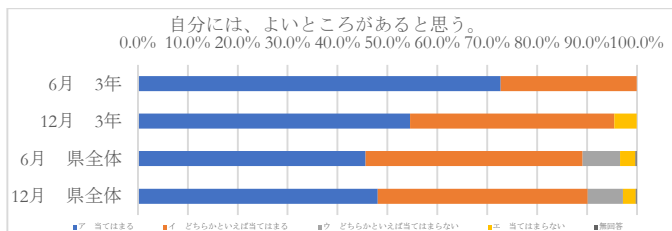
【1年アンケート結果より】



【2年アンケート結果より】



【3年アンケート結果より】



アンケート分析
各学年のアンケート結果より、具体的な将来のイメージができていないため、目標に向かって学習に取り組むことに課題が見られた。一方で、話し合い活動が学活や道徳、総合の時間で充実しており、学級での協力や規則などを決めることで学級生活がよりよくなっている。



未来は「下中(しも中)」から創られる ~自己実現を目指し一人一人が 主人公~